

ちゃんの定期駆虫スケジュール

定期駆虫予定日を書いておきましょう				気づいたことメモ			
1月	4月	7月	10月				
2月	5月	8月	11月				
3月	6月	9月	12月				

●かかりつけの先生と相談して、駆虫スケジュールを決めましょう。



バイエルZ.C. ホームページのご案内

「Life with Pet～人もペットも健康に～」

主なズーノーシスの症状や感染事例などがわかる「ズーノーシス情報」や、定期駆虫の重要性をお伝えする「定期駆虫のすすめ」、弊社製品紹介など、お役立ち情報が満載。人とペットの健康をバックアップします。

<http://www.bayer-pet.jp/>

バイエルの消化管内寄生虫駆除薬

犬用
ドロンタールプラス錠

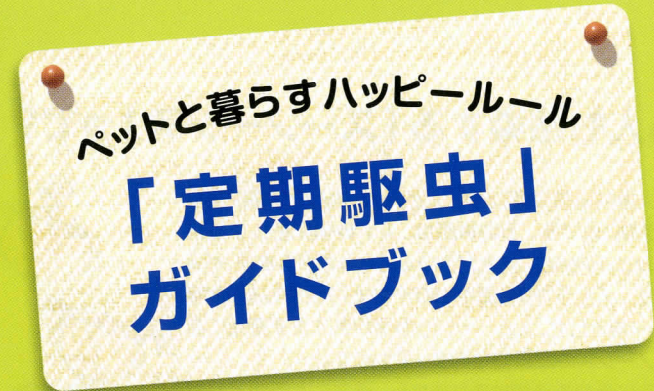
大回虫、犬鉤虫、犬鞭虫、瓜実条虫の駆除

猫用
ドロンタール錠

猫回虫、猫鉤虫、瓜実条虫、猫条虫の駆除

プロフェンダー スポット

猫回虫、猫鉤虫、瓜実条虫、猫条虫 および多包条虫の駆除
(投薬ストレスの少ないスポットオン液剤)

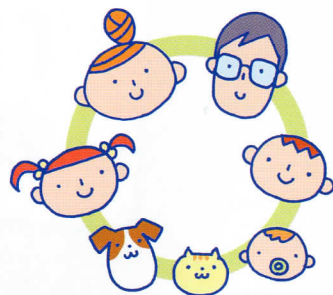


「定期駆虫」は、ペットとご家族を守る大切なルールです



ペットも人も感染する「ズーノーシス」って？

ズーノーシス(人獣共通感染症)とは、人とペットなどの動物が共通にかかる感染症のことです。その原因は、人や動物に寄生する寄生虫や病原菌。人から動物に病気がうつることもありますが、ペットのおなかの虫が、人にうつり健康をおびやかす可能性もあります。ペットが家族の一員として、人とペットの関係がますます身近になるにつれ、ズーノーシスの危険性も高まっています。もっとも、むやみに恐れる必要はありません。きちんと予防すれば感染は防げます。愛するペットを悪者にしないためにも、飼い主さんがしっかりケアをしてあげましょう。



ズーノーシス予防は 飼い主さんの責務です。

2006年施行の改正動物愛護法で、「動物に起因する感染症の予防のために注意を払うこと」は飼い主の責務と定められました。おなかの虫の駆除・予防も、飼い主さんが行うべき大切なケアです。

「おなかの虫」は 動物病院で駆除できます。

ペットのおなかの虫は、動物病院で駆除できます。しかし、感染に気づかなかつたり、検便で感染を確認できないこともあります。かかりつけの動物病院で「定期駆虫」をしていれば、安心です。

「定期駆虫」は、ペットとご家族、そしてみんなの健康のために

定期駆虫とは、定期的な駆除により、人とペットを寄生虫の病気から守る習慣です。

「うちのコは大丈夫」と思っている、周囲の環境が汚染されていれば、感染する可能性が。たとえおなかの虫の駆除成分が含まれたフィラリア予防薬を投与していても、ノミが媒介する瓜実条虫は駆除できません。また検便時に寄生虫が必ず発見できるとも限りません*。知らない間に、あなたのペットが寄生虫の卵をまき散らす感染源となり、ご家族から他の人やペットまで危険にさらすことにも。定期駆虫は、飼い主さんとペットの健康を守るとともに、社会への感染の輪の広がりを絶つハッピールールなのです。



*P.5の「糞便検査において虫卵を見逃す危険性」参照。

ペットとの幸せな関係のために「定期駆虫」を

ペット先進国のアメリカでは、10年以上前から疾病予防管理センター(CDC)^{*1}および寄生虫学協会(AAVP)が、ズーノーシスの原因となるペットから人への寄生虫感染を防ぐため、予防的な駆除薬の投与を推奨しています。また、2006年にヨーロッパで組織されたエスカップ(ESCCAP)^{*2}でも、飼い主が寄生虫についての知識を持ち、ペットの健康はもちろん、まわりのコミュニティの人々や動物の健康に責任を持つべきであると提唱しています。



AAVPが作成するガイドライン。理解が浸透したアメリカでは、定期駆虫が積極的に行われています。



ESCCAPのホームページ <http://www.esccap.org/>

*1 アメリカ疾病予防管理センター(CDC)：感染症の研究活動や予防および治療に関する情報を世界中に発信するアメリカの政府機関です。
*2 エスカップ(ESCCAP)：European Scientific Counsel Companion Animal Parasites

CDCが提唱する定期駆虫ガイドライン



バイエルは定期駆虫をおすすめします

おなかの虫と聞いても、ピンとこない飼い主さんも多いでしょう。ひと昔前ならともかく現代の清潔な日本で、寄生虫の繁殖は想像しにくいかもしれませんが、しかし、ペットを飼う人が爆発的に増えている最近のほうが、意外にも寄生虫(症)に感染するリスクは高まっています。例えば犬と猫と一緒に飼われている家庭や、多数の犬や猫が同居する多頭飼育家庭の増加。各地にできている「ドッグラン」のような犬どうしの交流の場の増加。そして何よりも人との関係がより密接になったことなど、昔とはまた違ったリスクが増加しているのです。

これだけは知っておきたい! おなかの虫の基礎知識



症状がなくても、感染しているかも!?

おなかの虫は、ノミなどの外部寄生虫と違って目に見えないう症状も出にくいいため、見過ごされがちです。こんな症状を見始めたら、かなり感染している可能性が高いかも!

こんな様子が見られたら、すでに赤信号!

- 元気がなくなる ●動作が鈍くなる ●消化不良や下痢を起こす
- おなかがふくれる ●異嗜症^{※1}を起こす
- 発育不良を起こす ●粘血便^{※2}や貧血を起こす



※1 異嗜症: 食べ物ではないもの(フンや石、紙など)を食べる病気のこと
 ※2 粘血便: 粘り気のある血便のこと

なぜ、うちのコのおなかに虫が!?

感染ペットの排泄物には虫の卵がいっぱい。お散歩中、道端に残されたウンチのニオイをかいたり、他のペットのおしりをくんくんしたり、ウンチを踏んだ足をペロペロしたりして、虫の卵を飲み込んで感染。



瓜実条虫はノミが媒介します。感染ノミを、毛づくろいの時などに飲み込んで感染。

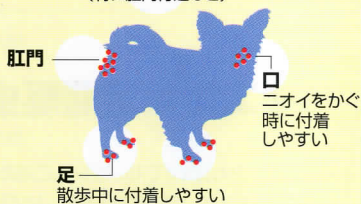


母犬・母猫から感染することも。外に出たことのない子犬・子猫も油断は禁物です。



「虫の卵」は、こんなところについています!

ペットの体表上
(特に肛門付近など)



犬回虫の卵



瓜実条虫の卵嚢

ペットのおなかに寄生する主な虫(消化管内寄生虫)



回虫
 犬回虫: 18cm以下
 猫回虫: 10cm以下
 虫の卵を口から飲み込んで感染。母犬の胎盤や乳汁、母猫の乳汁からも感染。



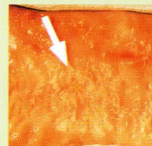
鉤虫
 犬鉤虫: 2cm以下
 猫鉤虫: 1.5cm以下
 幼虫を口から飲み込んだり、皮膚、母犬の胎盤や乳汁からも感染。



瓜実条虫
 50cm以下
 幼虫を持ったノミ(中間宿主)などを飲み込むことで感染。



マンソン裂頭条虫
 最大1~2m
 幼虫を持ったカエル、ヘビ(中間宿主)などを食べることで感染。



エキノコックス(多包条虫)
 0.2~0.5cm
 幼虫を持った野ネズミ(中間宿主)などを食べることで感染。



猫条虫
 最大60cm
 幼虫を持ったネズミ(中間宿主)などを食べることで感染。



犬鞭虫
 7cm以下
 虫の卵を口から飲み込むことで感染。

検便で陰性だからといって、安心はできません!

検便で虫の卵が見つければ寄生は確実ですが、陰性であっても安心はできません。寄生虫にはプレパテントビリオド^{※1}があり、その期間中であれば、虫の卵は見つかりません。また卵は、ふん便中に均等に分布しているわけではないので、一般的な直接塗抹法^{※2}では見逃される危険性が高いようです。

※1 プレパテントビリオド: 宿主に感染後、虫卵や幼虫などを排出するまでの日数。その期間は寄生虫によりまちまちです。

※2 直接塗抹法: スライドグラスに生理食塩水を滴下、少量のふん便をとって攪拌し顕微鏡で確認する方法。

※3 浮遊法: 集卵法と呼ばれる検査方法の一種。試験管で虫卵より比重の高い溶液にふん便を溶かし、虫卵を浮かび上げられます。卵の集まる表層部の液をとって顕微鏡で確認する方法。

糞便検査において虫卵を見逃す危険性

プレパテントビリオド **100%**

直接塗抹法 **50%**

1回の浮遊法^{※3} **25%**

(Lappin 2002)

人にうつるとこんなに危険! おなかの虫の人への病害



うっかりスキンシップにご用心

ペットに寄生するおなかの虫は、人にも感染してさまざまな病害をもたらします。あなたは、日頃、ペットとこんなスキンシップをしていませんか? もしペットに寄生虫がいたら、あなたにもうつりかねない、とても危険な行為です。



カワイイからキスだって当たり前



いつもいっしょのふとんで寝ている



スキンシップの後、手を洗わない



口移しや、自分のお皿やお箸でごはんをあげる

! 赤ちゃんや小さなお子様がいたら、もっと気をつけて!

抵抗力のない乳幼児は、おなかの虫による被害も大きくなりがちです。赤ちゃんや小さなお子様のいるご家庭では、ペットとの暮らしは次のルールをしっかり守りましょう。



ペットのトイレに近づけない



目の届かない所では、スキンシップをさせない



お子様の手洗いはこまめに



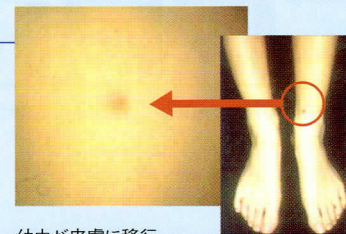
体調がよくない時は、ペットと遊ばせない

人の症例

犬猫回虫症

室内や砂場、あるいはペットの毛についた回虫の卵が口から入ることで感染。回虫が幼虫のまま内臓や目、皮膚の下、脊髄などに移行して、さまざまな病害をもたらします。

幼児への感染は重症化しやすく、とくに注意が必要です。また大人でも、大量の卵が入った場合には、重篤な症状を引き起こすことがあります。



幼虫が皮膚に移行(足首付近の皮膚部分から、犬回虫の幼虫を確認)

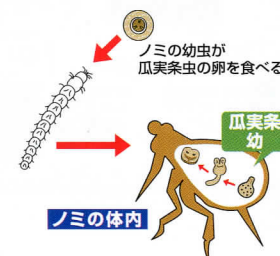
提供: 済生会千里病院内科 荒金和美先生

瓜実条虫症

瓜実条虫はノミが媒介します。ペットとスキンシップした時や、ペットに寄生したノミを人が手でつぶした時などに、はずみで口に入って感染します。感染すると、白い米粒のような片節^{*}が便と一っしょに出て来ることあります。

ペットにノミがいたら要注意! 瓜実条虫に感染している可能性が高いので、定期駆虫が望まれます。

^{*}片節: 虫体の一部で中に卵が詰まっています。

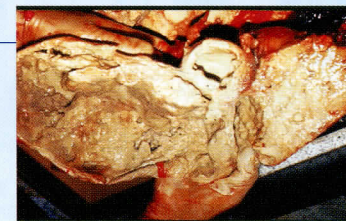


エキノコックス(多包条虫)症

キタキツネへの寄生^{*}で有名ですが、室内犬や猫にも感染。人へは、感染動物の排泄物に含まれる虫の卵が口に入ることで感染します。

感染後5~10年は自覚症状がありませんが、幼虫のまま肝臓内で増殖。次第に重い肝機能障害を引き起こし、放置すれば、血流やリンパ流にのって全身に転移し、90%以上が死に至る恐い病気です。

^{*}札幌周辺のキタキツネの約50%がエキノコックスに感染しているといわれています(北海道大学ホームページより)。旅先で、かわいいらすとむやみに触ると危険です!



エキノコックスが寄生組織が壊死した人の肝臓

提供: 北海道大学医学部附属病院 佐藤直樹先生
環境動物フォーラム 神谷正男先生